

肝炎ウイルス検査及び肝炎対策に関する調査

1 調査の目的

ウイルス性肝炎は国内で最大級の感染症といわれており、B型肝炎ウイルスは110万人から140万人、C型肝炎ウイルスは約100万人程度の感染者がいてと推定されています。また、肝硬変・肝がんへと重症化する疾患であることから、早期発見・早期治療が重要です。

本県では平成29年3月に「第2次山梨県肝炎対策推進計画」を策定し、市町村、医療機関、肝炎患者等とともに肝炎対策に取り組んできましたが、肝がん年齢調整死亡率が全国よりも高い状況が続くなど、引き続き関係機関の協力のもとで、様々な対策を実施する必要があります。

今年度「第3次山梨県肝炎対策推進計画」の策定にあたり、県民の肝炎ウイルス検査の受検状況（検査を受けている状況）やウイルス性肝炎に関する理解度を調査し、計画策定の参考にすることはもとより、今後の肝炎対策の推進に当たって参考とすることを目的に実施しました。

（参考）

肝臓は、人間の体内で最大の臓器。消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えたり、毒物を分解したり、体内の物質のバランスを維持したりなど、生命を支えるために重要な多くのはたらきを担っています。この肝臓の細胞が壊れてしまった状態が、肝炎です。

肝炎には、原因により、ウイルス性（A型、B型、C型、D型、E型など）、薬物性、アルコール性、自己免疫性などの種類があり、このうち、ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染することによって起こります。



2 調査期間

令和4年7月20日～8月5日

3 モニター数

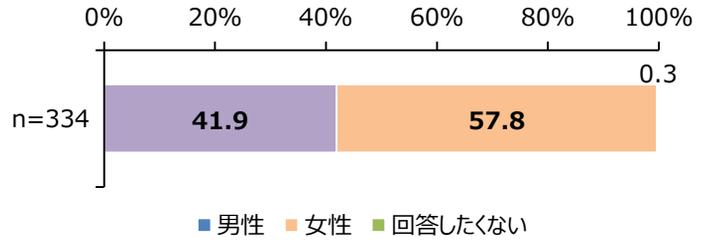
県政モニター区分	モニター数(人)	回答数(人)	回答率(%)
合計	435	334	76.8
一般モニター(郵送による調査)	196	165	84.2
インターネットモニター(webによる調査)	239	169	70.7

4 モニターの回答状況

※ 割合については小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならないことがある。

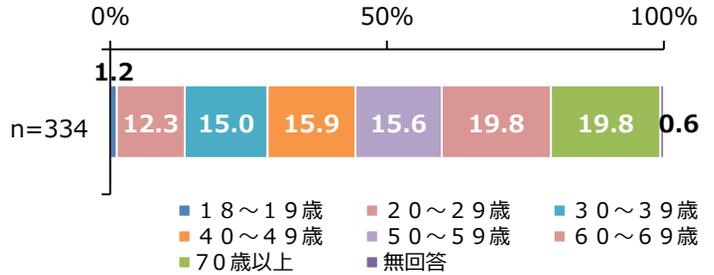
1 性別

性別	回答数(人)	割合(%)
合計	334	100.0
男性	140	41.9
女性	193	57.8
回答したくない	1	0.3



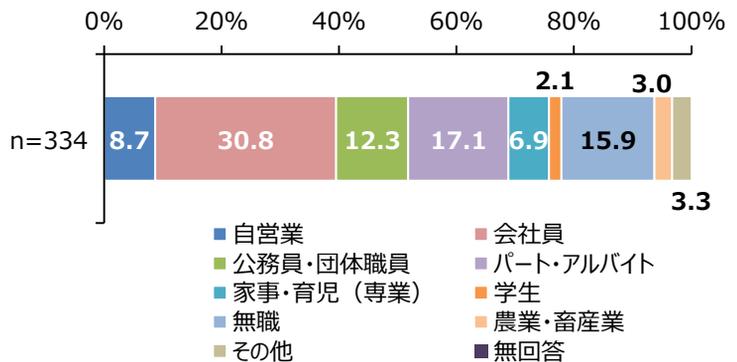
2 年齢

	回答数(人)	割合(%)
合計	334	100.0
18~19歳	4	1.2
20歳代	41	12.3
30歳代	50	15.0
40歳代	53	15.9
50歳代	52	15.6
60歳代	66	19.8
70歳代	66	19.8
無回答	2	0.6

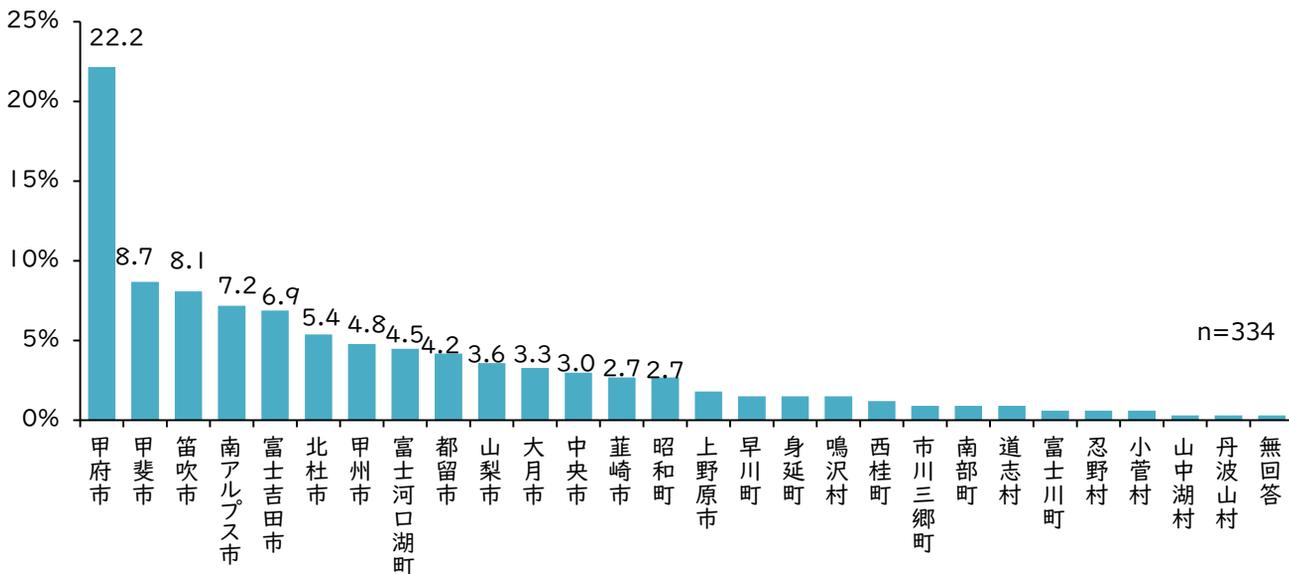


3 職業

性別	回答数(人)	割合(%)
合計	334	100.0
自営業	29	8.7
会社員	103	30.8
公務員・団体職員	41	12.3
パート・アルバイト	57	17.1
家事・育児(専業)	23	6.9
学生	7	2.1
無職	53	15.9
農業・畜産業	10	3.0
その他	11	3.3



4 居住地域



問1 B型肝炎の原因についてご存じですか（一つ選択）



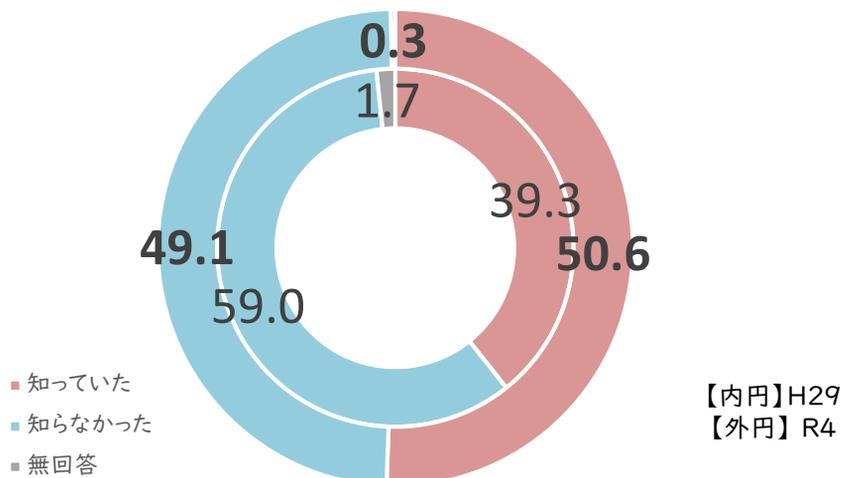
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100	334	100
知っていた	163	46.4	197	59.0
知らなかった	186	53.0	136	40.7
無回答	2	0.6	1	0.3

問2 C型肝炎の原因についてご存じですか (一つ選択)



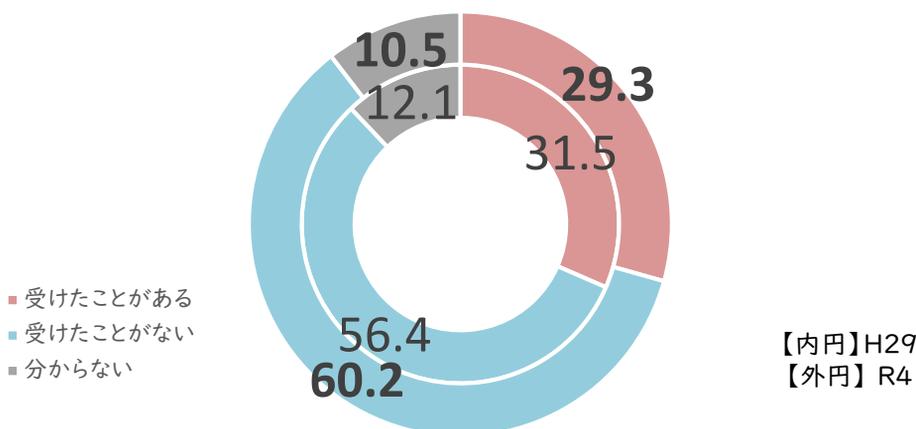
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100	334	100
知っていた	177	50.4	194	58.1
知らなかった	170	48.4	139	41.6
無回答	4	1.1	1	0.3

問3 肝がんを発症する原因についてご存じですか (一つ選択)



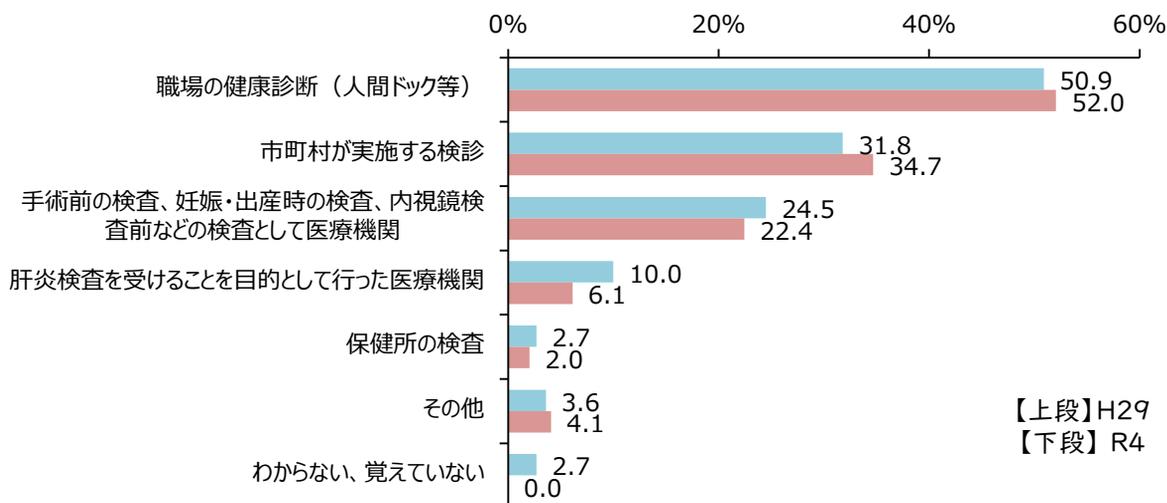
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100	334	100
知っていた	138	39.3	169	50.6
知らなかった	207	59.0	164	49.1
無回答	6	1.7	1	0.3

問4 今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか（一つ選択）



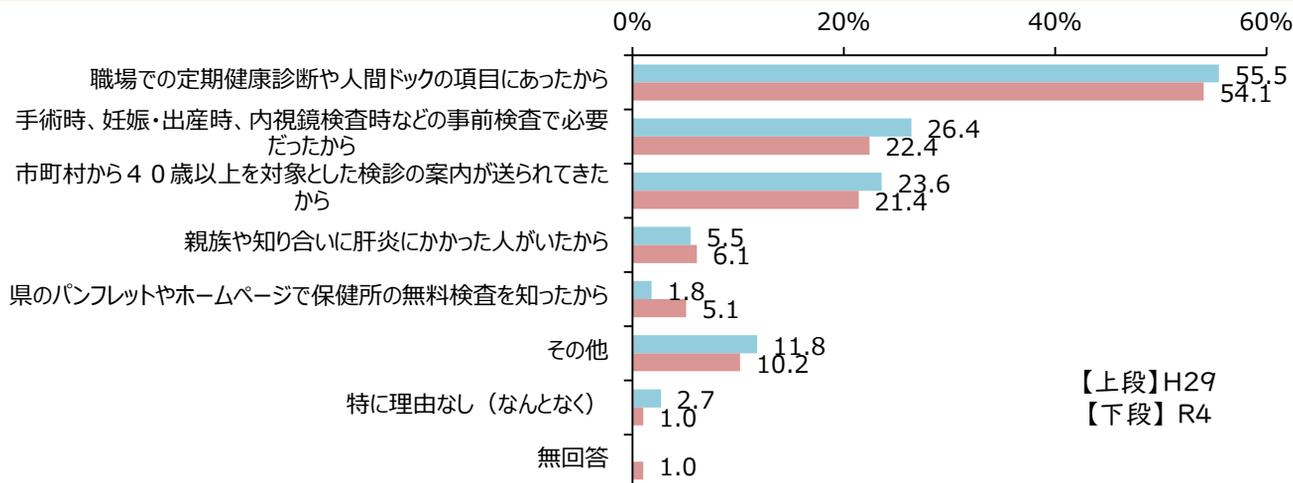
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	350	100.0	334	100.0
受けたことがある	110	31.5	98	29.3
受けたことがない	197	56.4	201	60.2
分からない	42	12.1	35	10.5

問5 肝炎ウイルス検査をどこで受けましたか（複数選択可）



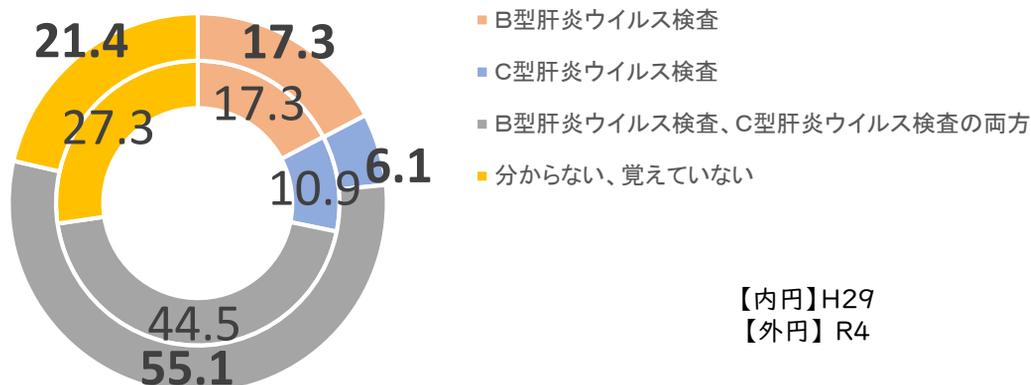
問4で「受けたことがある」と回答した方	H29 110		R4 98	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
職場の健康診断（人間ドック等）	56	50.9	51	52.0
市町村の実施する検診	35	31.8	34	34.7
手術前の検査、妊娠、出産時の検査、内視鏡検査前などの検査として医療機関	27	24.5	22	22.4
肝炎検査を受けることを目的として行った医療機関	11	10.0	6	6.1
保健所の検査	3	2.7	2	2.0
その他	4	3.6	4	4.1
分からない、覚えていない	3	2.7	0	0

問6 検査を受けたきっかけはどのような理由ですか (複数選択可)



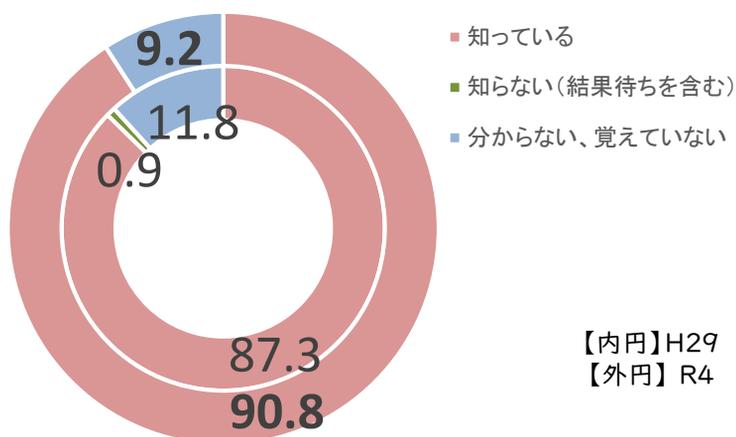
A	H29		R4	
問4で「受けたことがある」と回答した方	110		98	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
職場での定期健康診断や人間ドックの項目にあったから	61	55.5	53	54.1
手術時、妊娠・出産時、内視鏡検査時などの事前検査で必要だったから	29	26.4	22	22.4
市町村から40歳以上を対象とした検診の案内が送られてきたから	26	23.6	21	21.4
親族や知り合いに肝炎にかかった人がいたから	6	5.5	6	6.1
県のパンフレットやホームページで保健所での無料検査を知ったから	2	1.8	5	5.1
その他	13	11.8	10	10.2
特に理由なし (なんとなく)	3	2.7	1	1.0
無回答	0	0	1	1.0

問7 受けた検査の種類はどの検査ですか (一つ選択)



	H29		R4	
問4で「受けたことがある」と回答した方	110		98	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
B型肝炎ウイルス検査	19	17.3	17	17.3
C型肝炎ウイルス検査	12	10.9	6	6.1
B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方	49	44.5	54	55.1
分からない、覚えていない	30	27.3	21	21.4

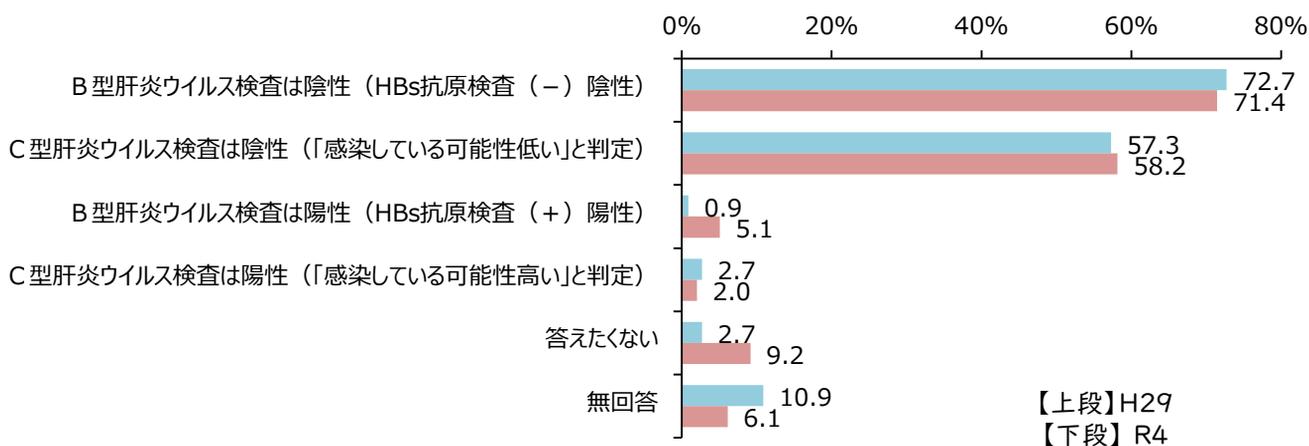
問8 検査の結果をご存じですか (複数選択可)



問4で「受けたことがある」と回答した方	H29		R4	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
知っている	96	87.3	89	90.8
知らない(結果待ちを含む)	1	0.9	0	0.0
分からない、覚えていない、無回答	13	11.8	9	9.2

問9 差し支えなければ検査結果をお答えください (複数選択可)

※ 問7で3 (B型、C型肝炎ウイルス検査の両方) と回答した方は両方の結果をお答えください。



問4で「受けたことがある」と回答した方	H29		R4	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
B型肝炎ウイルス検査は陰性	80	72.7	70	71.4
C型肝炎ウイルス検査は陰性	63	57.3	57	58.2
B型肝炎ウイルス検査は陽性	1	0.9	5	5.1
C型肝炎ウイルス検査は陽性	3	2.7	2	2.0
答えたくない	3	2.7	9	9.2
無回答	12	10.9	6	6.1

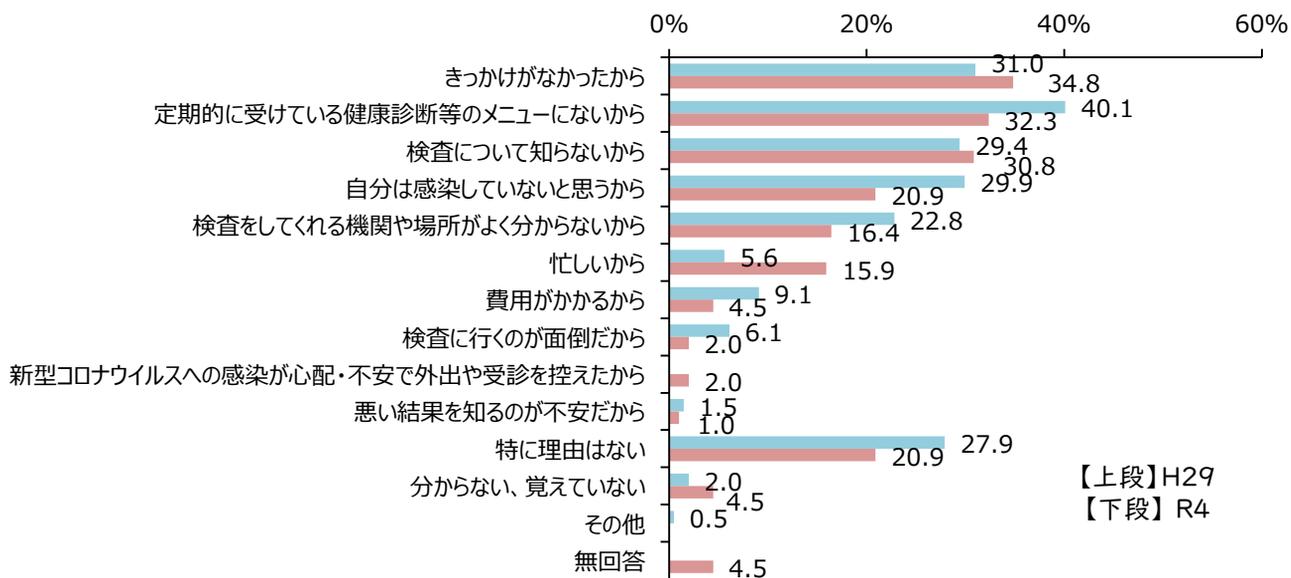
**問10 問9で陽性と答えた方にお聞きします。
結果を受けて、医療機関を受診しましたか (一つ選択)**

R4対象者 7名	受診し、治癒したため、今は受診していない	2
	受診し、現在も継続して定期的に受診している(治療中、経過観察中)	2
	受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない	2
	一度も受診していない	1

**問11 問10で「受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない」または、「一度も受診していない」と回答した方にお聞きします。
どのような理由からですか (複数選択可)**

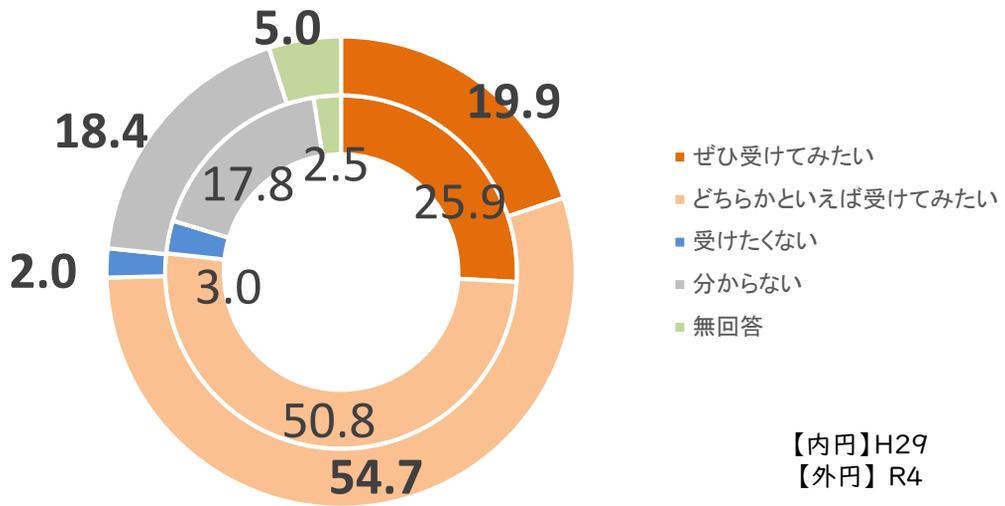
R4対象者 3名	現在、症状はなく、受診の必要性を感じないため	2
	金銭面の理由で受診できないため	1

問12 検査を受けていないのは、どのような理由からですか (複数選択可)



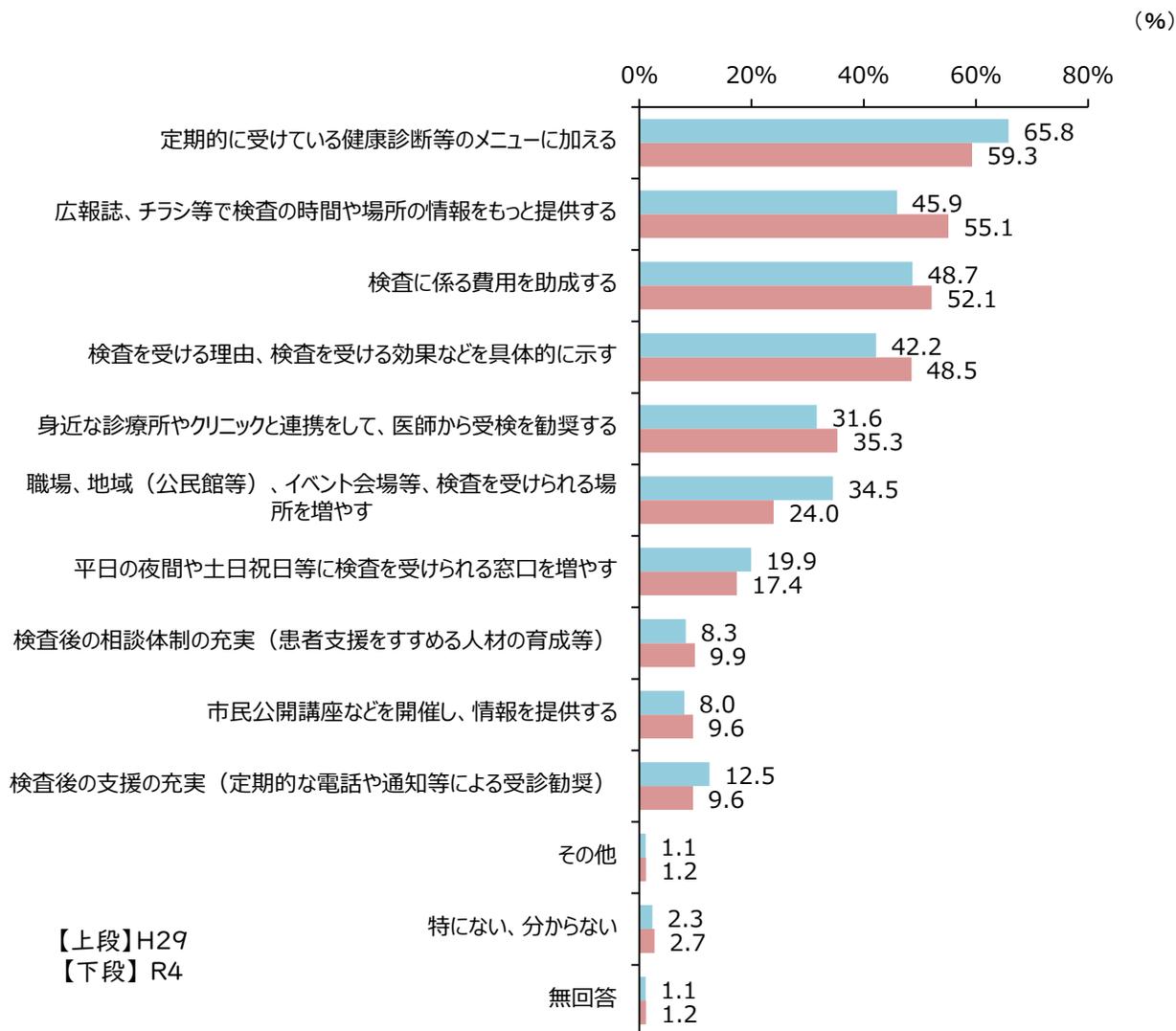
問4で「肝炎ウイルス検査を受けたことがない」と回答した方	H29		R4	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
きっかけがなかったから	61	31.0	70	34.8
定期的に受けている健康診断等のメニューにないから	79	40.1	65	32.3
検査について知らないから	58	29.4	62	30.8
自分は感染していないと思うから	59	29.9	42	20.9
検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから	45	22.8	33	16.4
忙しいから	11	5.6	32	15.9
費用がかかるから	18	9.1	9	4.5
検査に行くのが面倒だから	12	6.1	4	2.0
新型コロナウイルスへの感染が心配・不安で外出や受診を控えたから	-	-	4	2.0
悪い結果を知るのが不安だから	3	1.5	2	1.0
特に理由はない	55	27.9	42	20.9
分からない、覚えていない	4	2.0	9	4.5
その他	1	0.5	0	0.0
無回答	-	-	9	4.5

問13 今後機会があれば検査を受けてみたいと思いますか (一つ選択)



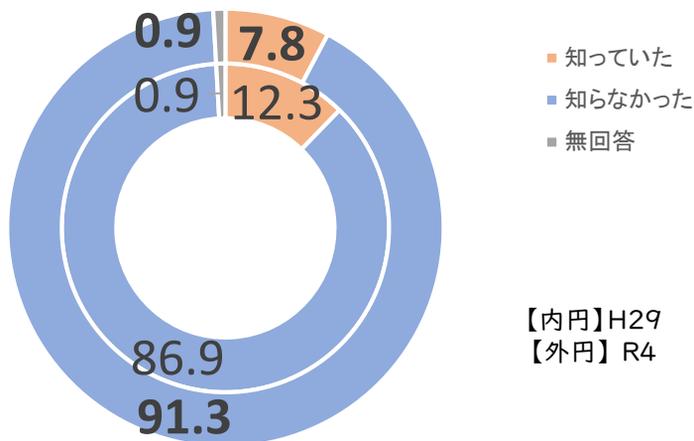
問4で「肝炎ウイルス検査を受けたことがない」と回答した方	H29		R4	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
ぜひ受けてみたい	51	25.9	40	19.9
どちらかといえば受けてみたい	100	50.8	110	54.7
受けたくない	6	3.0	4	2.0
分からない	34	17.8	37	18.4
無回答	5	2.5	10	5.0

問 1 4 肝炎ウイルス検査の受検者数を増やすために、県、市町村の取り組みとして、今後何が必要と考えますか。（複数選択可）



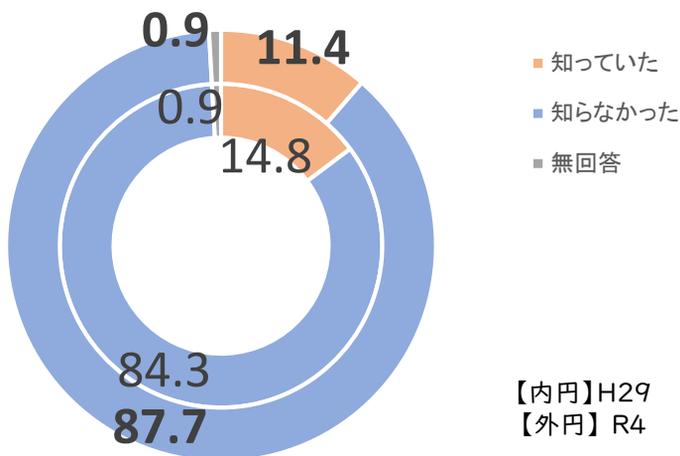
全回答者数	H29		R4	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
定期的に受けている健康診断等のメニューに加える	231	65.8	198	59.3
広報誌、チラシ等で検査の時間や場所の情報をもっと提供する	161	45.9	184	55.1
検査に係る費用を助成する	171	48.7	174	52.1
検査を受ける理由、検査を受ける効果などを具体的に示す	148	42.2	162	48.5
身近な診療所やクリニックと連携をして、医師から受検を勧奨する	111	31.6	118	35.3
職場、地域（公民館等）、イベント会場等、検査を受けられる場所を増やす	121	34.5	80	24.0
平日の夜間や土日祝日等に検査を受けられる窓口を増やす	70	19.9	58	17.4
検査後の相談体制の充実（患者支援をすすめる人材の育成等）	29	8.3	33	9.9
市民公開講座などを開催し、情報を提供する	28	8.0	32	9.6
検査後の支援の充実（定期的な電話や通知等による受診勧奨）	44	12.5	32	9.6
その他	4	1.1	4	1.2
特にない、分からない	8	2.3	9	2.7
無回答	4	1.1	4	1.2

問15 県内の各保健所では、B型、C型肝炎ウイルスの検査を無料で実施しています。このことをご存じでしたか（一つ選択）



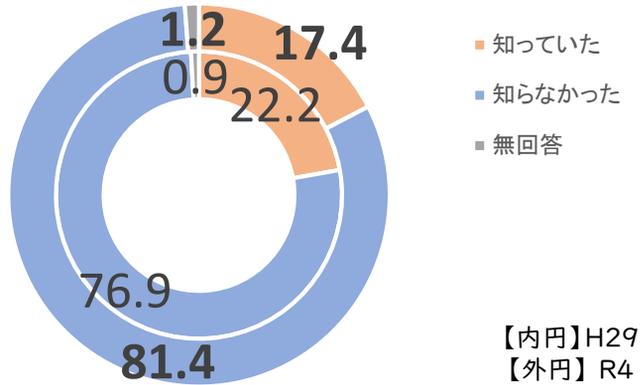
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0	334	100.0
知っていた	43	12.3	26	7.8
知らなかった	305	86.9	305	91.3
無回答	3	0.9	3	0.9

問16 県では、B型、C型肝炎ウイルスに感染し、精密検査の結果インターフェロンフリー治療（抗ウイルス療法）などが必要と診断され、治療を受けている方を対象に、医療費の一部を公費により助成しています。このことをご存じでしたか（一つ選択）



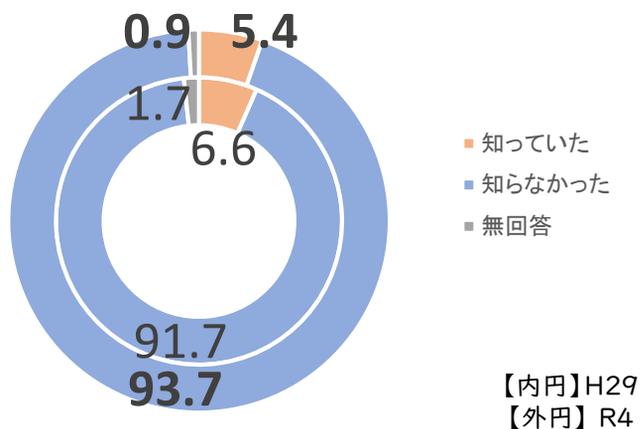
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0	334	100.0
知っていた	52	14.8	38	11.4
知らなかった	296	84.3	293	87.7
無回答	3	0.9	3	0.9

問17 C型ウイルス性肝炎の「インターフェロンフリー治療」をご存じですか (一つ選択)



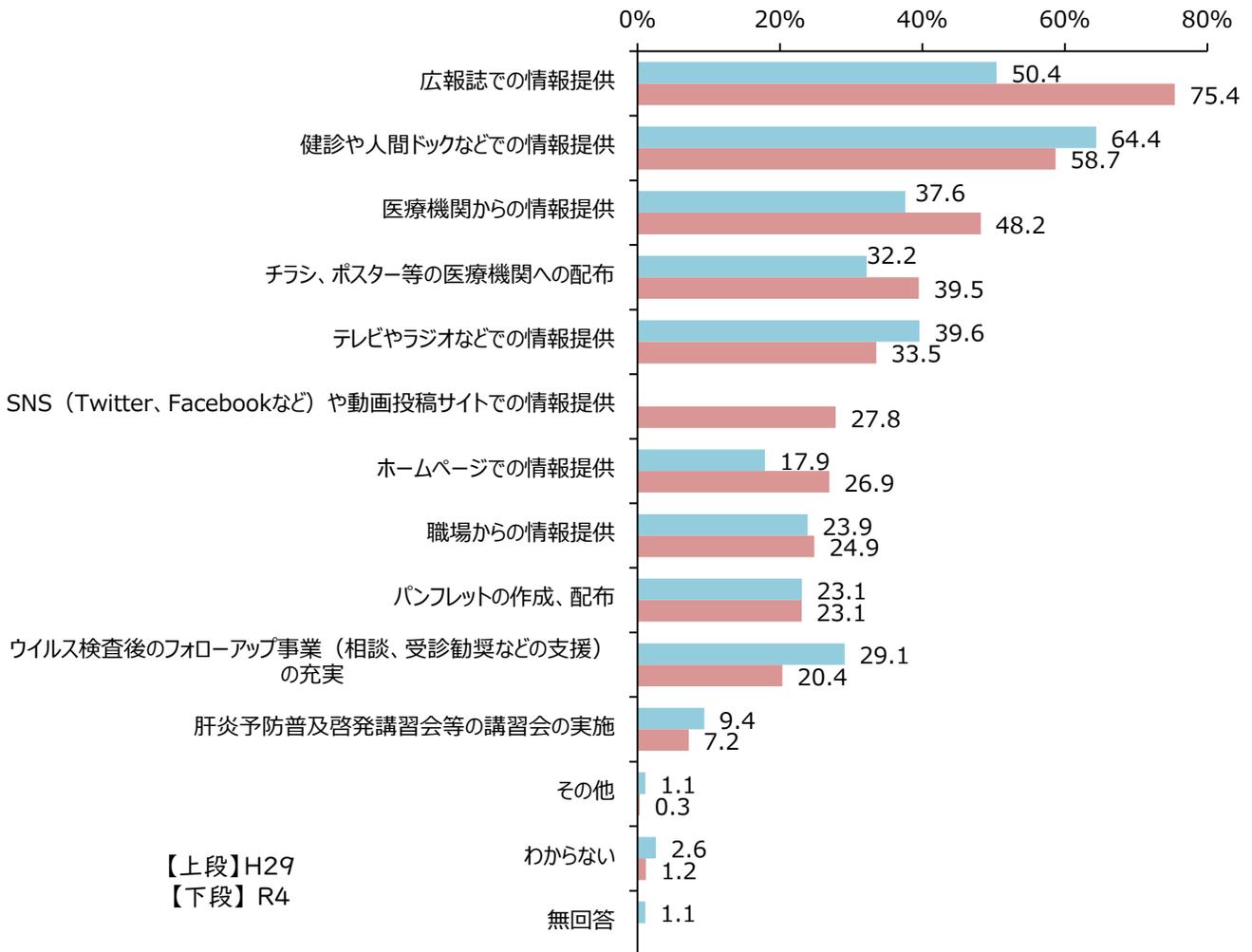
	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0	334	100.0
知っていた	78	22.2	58	17.4
知らなかった	270	76.9	272	81.4
無回答	3	0.9	4	1.2

問18 肝炎ウイルス検査で陽性となった方に対して、受診勧奨などの支援や初回精密検査費用、定期検査費用を助成する制度をご存じですか (一つ選択)



	H29		R4	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0	334	100.0
知っていた	23	6.6	18	5.4
知らなかった	322	91.7	313	93.7
無回答	6	1.7	3	0.9

問19 治療が必要な未治療の方へ治療法や県の医療費助成制度などをお知らせする有効な手段は、何だと思われますか（複数選択可）



【上段】H29

【下段】R4

全回答者数	H29		R4	
	回答数 (人)	回答率 (%)	回答数 (人)	回答率 (%)
広報誌での情報提供	177	50.4	252	75.4
健診や人間ドックなどでの情報提供	266	64.4	196	58.7
医療機関からの情報提供	132	37.6	161	48.2
チラシ、ポスター等の医療機関への配布	113	32.2	132	39.5
テレビやラジオなどでの情報提供	139	39.6	112	33.5
SNS（Twitter、Facebookなど）や動画投稿サイトでの情報提供	-	-	93	27.8
ホームページでの情報提供	63	17.9	90	26.9
職場からの情報提供	84	23.9	83	24.9
パンフレットの作成、配布	81	23.1	77	23.1
ウイルス検査後のフォローアップ事業（相談、受診勧奨などの支援）の充実	102	29.1	68	20.4
肝炎予防普及啓発講習会等の講習会の実施	33	9.4	24	7.2
その他	4	1.1	1	0.3
わからない	9	2.6	4	1.2
無回答	4	1.1	0	0.0

問20 その他、本県の肝炎対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください（自由記載）

10代

肝炎というものの存在と危険さ、治療法などについて初めて知ることができたし、気をつけようと思った。(18~19歳/女性)

20代

肝炎に関する情報は全国的なCMは見たことがあるが山梨県の公報では見た覚えがない(もしくはあまり印象に残らなかった)のでもっと周知して欲しい。(20~29歳/男性)

肝炎の事はあまり知識がなく知らないこともたくさんありました。自分のおじいちゃんはC型肝炎で亡くなっているのでそのことだけは知っていました。もっと若い人たちに肝炎のことを知ってもらって、検査を気軽に受けに行けるような環境があったらいいと思います。(20~29歳/男性)

助成制度が分かりにくい。(20~29歳/男性)

自分には関係ないと思っていたからか、知らないことが多かった。おそらく若い人達は知らない人が多いと思う。年配の方へは新聞、若い方へはSNSを通して周知させる必要があると思った。(20~29歳/男性)

ウイルス性肝炎という存在はなんとなく知っていましたが、名前以外の事はほぼ知りませんでした。今回のアンケートは関心を持つきっかけになったと思います。市民の皆さんにもウイルス性肝炎に関心を持ってもらうきっかけが必要なのだと思います。(20~29歳/女性)

今後は検査を是非受診したいと思います。(20~29歳/女性)

30代

私自身、総合病院に行き、C型肝炎(陽性の為)検査を毎月受けていて、子供が小さかったのでインターフェロンの治療をなかなかしないので、「ここにかからず、近くの病院で受けて下さい」と言われ、ショックを受けたので、個人病院では薬をくれ、胆嚢の為の薬をくれ、検査と結果を聞くのに病院に月2回通わなくてはならず、かえてお金がかかり治療をやめた。21年以上前の話です。(30~39歳/男性)

自分にはあまり関係ないような気がしていたが、こういった案内をされたり、知る機会があると関心が生まれ、検査を受けようという意識に繋がると思う。(30~39歳/男性)

情報へのアクセスがもう少し気軽に出来るの良いなと思いました。(30~39歳/男性)

40代

C型肝炎で祖父が他界したので関心はあり、近年では治せる病となっていることだけは知っていました。今回のアンケートで理解出来てとても良かったです。(40~49歳/男性)

私達40代でも肝炎のこと、肝炎になった時助成金が出ることなど県のHPもたまにしか見ることはないのでは知らない。20代・30代はもっと知らないのではないのでしょうか?健診の時などパンフレットを作ったりHP、LINEなどを通してお知らせしてくれるとありがたいです。(40~49歳/男性)

肝炎の感染経路が主に水平感染である事からも、若年層へ向けてSNSやTV、学校などで肝炎について知る機会が増えていけばいいなと思いました。(40~49歳/男性)

知らなかった事が多くて、びっくりしました。関心があまりなかったのもっと知っておくべきだと思いました。病院側の方から、声かけして頂ければ、必要なのかなと検討するタイミングがあると思います。(40~49歳/男性)

健康診断に合わせて肝炎ウイルス検査を受診できるようなシステムを期待します。男性は公的な定期検診に血液による前立腺がんの検査を項目に加えると良いと思います。肝炎ウイルス検査に関して検査を受けるための制度や経費に関して周知が不足しています。(40~49歳/女性)

検査等で助成されているのを知らなかった。肝炎の問題はテレビニュースなどで知ってはいたが、もっと深く知っておけば、役に立つと思った。定期的に健診を受けているので、肝炎についても今以上に興味を持ちたい。今回このアンケートで更に色々知ることが出来良かった。有難うございます。(40~49歳/男性)

私はテレビでみて知っていました。(全国放送のCMでした)
県の情報番組とかで扱ってもいいと思います。(40~49歳/男性)

50代

目につくようにしなくてはいけないし、知っていなければ目にも留まらないし、適切かついろいろな場所で情報を得ることができれば、必ず周知されることと料する。(50~59歳/女性)

肝炎=アルコールを飲む人のイメージがあるので自分にはあまり関係がないと思っている方も多いと思います。誰にでも起こりうる病と知れば、関心も高まっていくと思います。(50~59歳/男性)

テレビCMで「B型、C型肝炎の方は、検査を受けて下さい」といったことは耳にしたが、身近にそういう人がいないことや、いろいろな制度があるんだなど、今回アンケートを受けて知りました。何かあった時は、思いだし、行動したいと思います。(50~59歳/男性)

全ての病気に対してそうなのですが、今からの時代は薬に頼らなくてもいい時代になっていくのでは、ないでしょうか。私はアトピーに昔なりました。前世紀の頃のステロイドで酷い目に合いました。なので、色んな病気になってる方に、科学物質で治すのはどうなのかなと思います。今はまだ理解されない治し方があります。でも、体には安全です。(50~59歳/男性)

肝炎に関しては、アンケートを見てほとんど自分が知らない事にびっくりしています。多分、周りの方も私と同じ感覚だと思います。(50~59歳/男性)

わかっていなかったこともありますので、興味を持って確認していきたいと思います。(50~59歳/男性)

検査は無料とか助成金といっても、健康保険や税金から費用が出ているので事実上は無料ではないですね。

検査のキャンペーンをするにもお金がかかります。

それも我々の税金です。

今のままで何かまずいことがあるのでしょうか？

税金をかけて病気を発掘して不安にさせる意味はないと思います。

公費を使って医者と製薬会社の営業をしているように見えます。(50~59歳/女性)

8月6日付の山梨日日新聞での肝がんの記事で、現状を知りました。

やはり、新聞などで掘り下げて、周知することで、理解が深まると思います。(50~59歳/男性)

60代

気にしていなかったからか、情報に気が付かなかったので、多くの人に伝わるように考えていただけたらと思います。(60~69歳/男性)

もっと積極的に広報する(60~69歳/女性)

事業所等の健康診断に、肝炎の検査が必要な方をピックアップして、取り入れていくと受けやすいのではないかと思います。(60~69歳/男性)

肝炎に関しての知識が余りにも希薄で愕然としましたが、知る機会をいただき有り難かったですね。関心を持つきっかけ、日頃観ているテレビ、読んでいる新聞にて擦り込まれなければならない程の環境が必要なんではないかと思われる。(60~69歳/女性)

引き続きPRを継続していくのが良いと思います。(60~69歳/女性)

肝炎ウイルスについては病気の中でも一般的な認知度が低く、発症後その経過に気付くことが多いイメージです。一方で国内で最大級の感染症ということでその認識の甘さが余計に感染者の増加へ繋がってしまっているように感じました。もっと身近な機関(市役所や病院)での発信をしていくことで一般的な認知度を広めていくことが大切だと思います。(60~69歳/女性)

現役の頃、職場で関わりのある人が肝炎で何人か(別々の所で)いたので、血液を扱う際の注意については知っていた。しかし、それ以外の事については、全く何も知らなかった事に今回のアンケートで気づかされた。検査や治療に助成があるなら、もっと広く知らせ、一人でも多くの人に受けてもらうべきだと思った。なぜなら「検査や治療は高い」というイメージがあり、受けない人も多いと思うから。私自身は定期的に検査を受けているが、いつどこで感染するか分からないので、毎年とは言わないが、数年に2回くらい健康診断の中に加えていただきたい。また、感染しないための予防方法についても広く知らせていただきたいと思います。(60~69歳/男性)

してはいけない行為を具体的に説明するべき。(60~69歳/女性)

検査の受診数及び陽性率を取り上げてください。テレビ・新聞等で大勢の人に見たり聞いたりしてもらう為をお願いします。(60~69歳/男性)

自身肝炎ウイルス検査について知りませんでした。また、知らない人は多いと思います。(60~69歳/女性)

元来健康な方で、意識・知識が薄いのですが、健康診断の項目とリンクしていれば要検査と継り早期発見になると思う。また、身近な医者で簡易な検査から早期発見に繋がると思うので、そうした教育も必要かと感じる。(60~69歳/女性)

70代

採血検査の際、項目を増やしてもらえれば良いと思う。(70歳以上/女性)

定期健康診断(職場・人間ドック) 毎年の受診の啓発または制度化、それに係る費用の一部公的負担等で、早期発見、治療が必要と思われます。広報やテレビ、スマホやPCへの宣伝にて肝炎対策の必要性を浸透する。このアンケートにて肝炎の治療方法、具体的治療薬や医療費用の助成等を知りました、医療機関や市町村にても積極的に具体的に広報が望まれます。今回参考になりました。(70歳以上/女性)

我が家では、在職中、定年後ほぼ欠かさず、健康診断、住民検診を夫婦で受けています。が、知人の中には、すすめても受けてない人達があります。せめて住民検診を、五年間受けられてない家庭に、市町村から、電話でも、問い合わせして(受けない理由、受ける勧め)してみても、いかがでしょう
受けない中に、結果が怖いと言う方が数人いました。(70歳以上/男性)

私事ですみません。知らないことの多さにショックです。学習すべきことかもしれませんね。(70歳以上/男性)

肝炎の情報があまりないので自覚症状がない。早期発見が難しい。(70歳以上/女性)

肝炎に対して全ての事についてあまりにも知らなすぎたので今後は若い者とも話題にしようと思います。(70歳以上/男性)

20年程前に主人のC型肝炎が分かり、治療を始めましたが、型が合わないということで、効果がありませんでした。この頃は金額面での補助はなく、かなりの治療費と時間(期間)がかかりました。その後新しい薬が加わり、補助もできて、2年間の治療で完治しました。今でも病院に定期的にかかりアドバイスを受けています。検査が無料になったことは知りませんでした。主人の経験から、治る病気であること、金額についても、それほど心配はいらないことなどを多くの方に知っていただきたいと思っています。(70歳以上/男性)

C型も怖い。しかし、B型肝炎も劇症肝炎ももっと恐い。これらを防ぐには、定期検査が一番です。幸いなことに私は、医者(かかりつけ医)を持っているため、検査を受けているが、周囲には、医者は嫌だ行かないという人もいるが、皆受診してもらいたいと思います。(70歳以上/女性)

アンケート調査にて初めて肝炎の重要性が知りました。事柄は知っていたが詳細は知らなかった。人間ドックは以前より行っていたが果してその項目の有無を知らなかったと思う。今後この事も多くの人に知ってもらいたい。(70歳以上/女性)

肝炎対策に今まであまり興味がなくスルーしてました。これからは興味を持つようにします。(70歳以上/女性)

肝炎そのものをよく知りませんでした。今回のアンケートで知る事ができたような気がします。(70歳以上/男性)

転居して2年足らずの為、肝炎についても、もっと情報を得て勉強してから、無料検査の機会があれば受診してみたいです。(70歳以上/男性)

肝炎の恐ろしさは知っています。町村で行われている検診の項目に入れてほしい。医者等の声かけ、検査方法等細かく知らせてほしい。自身が健康と認識しているので肝炎のみの検査は、忘れてしまう。(70歳以上/男性)

検査は受けたことがあります。大丈夫(陰性)だったため、自分的に良かったと思って済んでしまいましたが、この調査で県の方のご苦勞と大変さを感じました。意外に分かっているようで分からない人達が多いのではと私は思いました。チラシ・ポスター、パンフレット(広報誌)などでのお知らせなどは重要ではないかと思いました。(70歳以上/男性)

この調査の内容について知らない事が多く驚いた。血液検査で肝機能の数値が高い人に対し情報を知らせてほしい。(70歳以上/男性)

ウイルス検査の無料、医療費の一部助成etcを知らせながら進んで検査を受けるような広報活動や情報の提供を呼びかけ多数の方に理解していただけたらベターです。(70歳以上/男性)

肝炎ウイルスについて、知らない事があまりにも多すぎる自分を発見できました。(70歳以上/女性)

毎年市から各種健診のお知らせが届きます。国保加入者に対して75歳までは人間ドックの負担金が安く済みます。社保から国保に変わってから、この制度を利用して受診しています。負担金が少なくて利用しやすい制度です。(70歳以上/男性)